ます。

行者に十分な配慮が必要です。

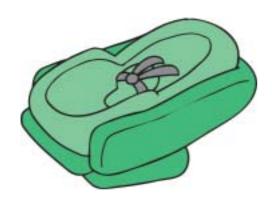
他方、

小・中学生の自転車

には高齢者をはじめとする歩

自転車を運転するとき 被害者の約6割は高齢

SHIMOTSUKE-CITY



中は、

50人の歩行者が亡くな

故も増えています。 平成 7年

自転車運転中の歩行者との事

また、近年、小・中学生が

ったり重傷を負ったりしてい

ます。 チャイルドシートの使用は 交通事故 幼児の自動車同乗中の

平成17年は1・ 7年)は3・28%でしたが、 を負う割合は、10年前(平成 幼児が自動車に同乗中に交通 ました。この間、6歳未満の シートを使用していたものの 満の幼児のうち、チャイルド の被害を軽減する効果があり 交通事故に遭ったときの幼児 事故に遭い、死亡または重傷 割合は10年間で約5.6倍に増え 事故に遭い、死傷した6歳未 自動車に同乗中に交通 50%まで減っ 対歩行者事故の増 交通事故 子どもの自転車乗用中の

子どもの飛び出しも 子どもの歩行中の交通事故

超えています。 幼児と小学生の違反の5割を 容では「飛び出し」が最多で、 がみられます。法令違反の内 49・9%で何らかの法令違反 小学生の6・4%、中学生の てみると、幼児の79・1%、 行者側の法令違反の有無をみ に遭ったケースについて、歩 歩行中の子どもが交通事故

大きな要因 点では、 要があります。

転車の事故の7割以上は交差 が最も多くなっています。自 との出合い頭衝突による被害 運転中の交通事故死傷者につ が安全に十分に気を付ける必 点での事故であり、特に交差 **いては、交差点における車両** 自転車と自動車双方

ェックポイントとして紹介し では、これまでのことをチ

幼児を自動車に同乗させる

してから渡ります。

チェックポイント 子どもたちが交通事故 に遭わないための

ルをしっかり守り、特に交差

自転車に乗る場合は、ルー

点での横断には気を付けて運

転します。 また、歩道上では

す。人通りが多い場合などは、 あくまで歩行者優先が原則で

目転車から降りて押し歩きを

は、一度止まって安全を確認 さない。道路を横断するとき や同乗する大人も、座席の位 ときは、必ずチャイルドシー を着用しましょう。 重にかかわらずシー トベルト トを使用します。 ドライバー 歩行中、急に道路に飛び出

確認しましょう。

自転車に幼児を同乗させるときは ヘルメットを着用させましょう

ります。

側にも何らかの法令違反があ 4分の3の事故では、自転車 自動車事故です。そのうちの における事故の8割以上が対

小・中学生の自転車運転中

交差点事故が最多

加

自転車の二人乗りは、原則として禁止されています。 しかし、各都道府県では、例外として幼児用座席に6歳 未満の幼児一人に限り同乗させることが認められていま す。幼稚園や保育所の送り迎え、買い物などで、自転車 に幼児を同乗させている光景はよく見られますが、 -方、 自転車同乗の幼児の事故も増えています。平成17年中、 自転車同乗中の幼児が被害に遭った交通事故は1,904件 発生し、幼児の死傷者は2,130人(うち死者2人)に上 ります。

死傷者の4割以上が交差点での車両との出合い頭事故 によるものです。このほか、自転車の「駐輪時」や「発 進時」の転倒などによる事故も起きています。被害に遭 った幼児の43.8%は頭部を損傷しています。 大きな被害 を防ぐために、ヘルメットを着用させましょう。

自転車の幼児用座席に幼児を乗せる場合には、 交通ル

ールとマナーを守るこ とはもちろん、「ハンド ルから手を離さない」、 「幼児は最後に乗せ、 初に降ろす」ことを常 に実践し、同乗する幼 児には「ヘルメットを 着用させる」よう心が けましょう。



交通ルールとマナーをもう一度 よう、家庭や学校、地域などで 休み明けに元気な笑顔がそろう 通事故の被害に遭うことなく、 夏休み中に、子どもたちが交